



平成24年度の取組に関する説明会資料

フード・コミュニケーション・プロジェクト ～～地域ランチ～～

平成24年5月29日

農林水産省

食料産業局 企画課 食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

F C P 地域ランチの概要

1

各地で、F C P の仕組みを活用して、地域独自の課題に取り組み、地場の食品産業の活性化につなげる活動

2

都道府県から、独自のテーマ、手法での活動の提案を受け付け、農林水産省 F C P 事務局が連携して活動をサポート

3

食品産業事業者の人材育成、経営コンサルティング、販路開拓、商品ブラッシュアップ、農商工連携など、それぞれの地域が重視する課題に関して、それぞれの地域のやり方で運営

4

平成23年度は、岩手県、三重県、愛媛県、和歌山県、山梨県、栃木県、大分県、滋賀県、島根県が地域ランチを立ち上げ。今後も、各県に立ち上げを呼びかけ

5

地域ランチ間での情報共有や他の研究会活動との連動により、各地の活動のさらなる活性化を働きかける方針

地域ランチのパターン

- 地域ランチの内容は、各都道府県で自由にお決めいただけるものです。
- 現在活動中の地域ランチの内容や、関連するFCP研究会の活動から想定できるランチの活動パターンは、以下のとおりです。

パターン1

セミナー開催

パターン2

既存事業組込み

パターン3

職員業務利用

パターン4

人材育成プログラム

パターン5

研究会開催

パターン6

総合展開

パターン7

協議会等活性化

各パターンの概要

パターン	概要
セミナー開催	● セミナーのプログラム中にFCPを盛り込む。 ● 内容はセミナーの目的に応じて選択（コンプライアンス、販路拡大、6次産業化等）
既存事業組込み	● 既に実施している各県事業の中にFCPの仕組みを組み込み、事業効果を高める ✓ 商談会開催事業においてFCPシートを利用 ✓ ビジネスプランコンペの審査項目にベーシック16を利用 ✓ ブランド認定制度の評価項目を、協働の着眼点と照らし合わせて見直し等
職員業務利用	● 6次産業化など関連業務を担当する職員が、FCPの仕組みやツールの利用方法を習得し、日常の事業者対応に取り組む
人材育成プログラム	● 食品事業者のための人材育成プログラムの中にFCPの内容を盛り込む
研究会開催	● FCPの活用に関心のある事業者が集まって、特定のテーマに関して意見交換を行う研究会の場を運営する
総合展開	● 食品産業活性化の対策等を総合的に推進する際にFCPの仕組みを活用する ● セミナー開催、既存事業組込み、職員業務利用、人材育成プログラム、研究会開催の各パターンを組み合わせることにより、対策推進に一貫性を持たせる
協議会等活性化	● 都道府県の施策推進のパートナーである、関連事業者団体や関連の財団法人などが、「各パターンの概要①」に類するような形でFCPの仕組みを利用する場合に、都道府県と農水省FCP事務局が共催者として参画、実施をサポートする（例；食品産業振興会、食品クラスター協議会、産業支援センター等）

地域ランチ立ち上げまでの手順（イメージ）

F C P への賛同表明（情報共有ネットワークへの参加！）



皆様の地域の課題に即して、どのようなF C Pを活用した取組を行うか、
ランチの活動内容のご検討（農水省F C P事務局もお手伝いします！）



地域ランチの活動計画を農水省F C P事務局と共有



地域ランチ立ち上げ

状況に応じ、随時、農水省F C P事務局と
相談して活動内容を見直し、着実なF C P活用推進

FCP地域ランチ 開催都道府県

9県でFCP地域ランチが開催されています。



平成22年度以前より

平成23年度より立ち上げ

FCP岩手ブランチャ

FCP岩手ブランチャの目指す方向

食品事業者と関係機関が同じ立場で仕事をするプラットフォームへ

企業 生産者 行政 金融機関 関係機関

【テーマ】
食品事業者の経営環境
・サービス開発供給
・ネットワークづくり
・復旧・復興の基盤

【テーマ】
成長分野の開発
・研究会
・サービス開発供給
・復興→次の産業へ

【テーマ】
地域の視点
・市町村での
プラットフォーム
型支援

変化に対応する
事業者群の育成

成長分野の
開発と参入促進

市町村、地域を主役
としたプラットフォーム

6次産業化事業者への支援

いわて6次産業支援センターと連携を図り、情報の共有化や6次産業化に取り組む農林水産者等に対する支援を行うとともに、農林水産者と県内食品加工業者間とのネットワークづくりを推進する。

FCP岩手ブランチャ

連携・情報共有

いわて6次産業支援センター
(県・岩手県中小企業団体中央会)

○県内食品事業者とのネットワークづくり

○事業計画策定 ○各種制度活用に関する相談 ○経営相談

6次産業事業者

～いわて食ビジネス交流会～ 平成23年8月5日

県内食品事業者、6次産業化取組事業者を対象に、セミナー・交流会を実施



FCPアドバイザーから①商品開発、②販路拡大、③お客様コミュニケーションについての考え方、取組み内容についてご教示いただいた後に、県内4事業者の取組事例紹介と交流会を開催。

県内事業者からの取組みをお話いただき・一緒に考え・仲間になり、新たな活動へのステップアップを図る。

F C P 愛媛ランチ

愛媛県では、対象者別に2つの講座をもうけて、ランチを実施しました

講座1：ビジネス力向上実践講座

対象：農業者、食品事業者ほか

目
的

商談会等の要望がある「あぐりすとクラブ会員等」のスキルアップを図るため、F C P 商談会シートを基本ツールとした研究会を開催し、それをもとに実践(商談会)を展開することを目的とするにつなげる

内
容

- 「ベーシック16」および「F C P 展示会・商談会シート」を基本ツールとして活用する
- 「ベーシック16」に基づいて自社の振り返りを行い、お客様視点の考え方を学習する（多様な業態の参加者と意見交換をして学ぶ）
- 実際にシートを作成しながら食品に関する様々な事項を学ぶ
- 商談会に参加し、その成果を共有し更なる企業力アップにつなげる

実践講座
(6～7月3回)



商談会参加
アグリフードEXPO東京



実践講座
(12～1月2回)



商談会参加
アグリフードEXPO大阪
FOODEXJAPAN

あぐりすと
クラブとし
て参加予定

講座2：普及指導員指導者養成講座

対象：普及指導員

目
的

農業者の指導的立場である普及指導員に対して、F C P の考え方を学び、生産者が6次化に取り組むにあたって指導できるスキルを身につける。→地域の農業者のレベルアップを図り、所得向上を目的とする

内
容

バイヤーとの意見交換、食品衛生の基礎知識、F C P ツールの基本的な使い方（ベーシック16、F C P 展示会・商談会シート）

集中講座
(11～12月3回)



現場での活用事例の共有
実際に作成したシート等を講座
の成果として普及指導員間で共有

●23年度大分ランチ概要

大分県では、

「流通別現状の洗い出し」

「基本の徹底(安全・安心、経営品質上)」

「The・おおいたブランドの確立・認知」

の3つの課題を、FCPの仕組みを利用し、地域産業の振興と活性化を図るために今年度から大分ランチを立ち上げ。

23年度は「FCP展示会・商談会シート」を活用し、受講した事業者さんが全5回(うち1回は商談会に参加)のセミナーを通じて、それぞれに「FCP展示会・商談会シート」を完成させ、「商談会」にて商談を成功させることを目的とする。



第1回大分ランチ 9月12日

- ・テーマ「自社の振り返りと商談会シート裏面作成」
- ・講師 神井弘之様(農林水産省) 箱崎浩大様(社団法人日本能率協会)

第2回大分ランチ 10月26日

- ・テーマ「売れる商品作りと商談会シート表面の作成」
- ・講師 坂倉秀人様(株式会社イトーヨーカ堂)

第3回大分ランチ 1月19日

- ・テーマ「百貨店の取り巻く環境と食品業界が求めているもの、商談会でバイヤーの目に止まるための商談の仕方」と模擬商談会
- ・講師 岡田正純様(株式会社三越伊勢丹)

第4回「展示会・商談会にて実践！」 2月上旬～3月下旬

第5回「商談会参加を振り返って」

自社・自社製品の良さに自ら気づいたことが自信になった。「FCP展示会・商談会シート」の作成で、求められていることを改善し販路の開拓に繋げることが必要である。



FCP 滋賀ランチ

【目的】

生産者団体の食の安全・安心を基本とした「商品説明力」と「営業力」を向上させるため、滋賀ランチとして「商談力向上セミナー」を開催。

【内容】

●第1回(平成23年11月7日(月))

(講義)「小売業の視点 ～バイヤーが商品に求めるもの～」

京王百貨店 食品部計画管理担当

マネージャー 野口 喜弘 氏

(グループワーク)

・「自らの農畜水産物を売り込んでみよう」

生産者同士による商品の売り込み体験。

・「FCP展示会・商談会シート」おもて面作成について



第1回 講義

●第2回(平成24年1月10日(火))

(講義)「飲食・総菜店の視点～(株)ロック・フィールドの取組～」

(株)ロックフィールド 購買本部 ヘッドバイヤー 田中 秀幸 氏

(講義) FCP展示会・商談会シートおもて面ふり返し

FCP事務局より

(グループワーク)

・「FCP展示会・商談会シート」うら面作成について

鶏卵肉情報センター代表取締役社長 杉浦 嘉彦氏



第2回 グループワーク

●第3回(平成24年2月16日(木))

(講義)「FCP展示会・商談会シート」うら面ふり返し

FCP事務局より

(模擬商談)「参加者団体による模擬商談」

講師(バイヤー役)

河崎 友彦 氏(元百貨店 MD)

島田 幾雄 氏(元量販店 MD)

森 順一 氏(里湯昔話 雄山荘)

(ミニ講座)「継続した取引につなげていくために」

様々な立場のバイヤーから、地元の食材を使用したときの課題の提起。

(次年度へ向けて)講師を交えた産地を活性化

させるための意見交換。



第3回 模擬商談会



第3回 意見交換

島根県では、県内の食品事業者が抱えているコミュニケーションの課題について解決することを目的にランチを実施しました

テーマ 商品の価値をどう表現し、どう伝えるのか

①キャッチコピーや商品の特性の表現だけでなく、風土・歴史・食文化や安全・安心感といった部分までをどう伝えるのかということも、商品のストーリー性やコンセプトを演出する上で必要

②今は、安全管理に対して直接消費者の要求が突きつけられる。小売業者は、消費者が商品に対して安心感を持てるよう、表示の工夫や情報公開等に取り組んでいる

③生産・製造工程の情報開示による経営姿勢の訴求により、**作り手と買い手の“顔の見える関係づくり”**を目指す

などなど



商品力の向上から企業力の向上へ！

手法 FCP開発ツールを用いた自己診断と、表現方法の研究

- ベーシック16を用いた自己診断
- FCP展示会・商談会シートを用いた表現力の改善



セミナー方式によるスキルアップ
対象
食品事業者、生産者、支援事業者

セミナー 講義とグループワークの2部制で外部講師を招いて開催

※第5回は、3月下旬に開催予定

第1回(7/28)	第2回(8/25)	第3回(9/30)	第4回(11/17)
食品をめぐる最近の消費者トレンドを知る	安心・安全を提供する。“見える化”の取組	商品の魅力を伝えるためのひと工夫	商談の場でバイヤーに伝えるための商品PR術
イオンリテール(株)フードアルチザングループマネージャー 仲元 剛氏	(株)鶏卵肉情報センター 代表取締役(月刊「HACCP」発行人) 杉浦 嘉彦氏	(株)高島屋クロスメディア事業部 ネット営業部 野口 昌彦氏	(社)日本能率協会産業振興事業ユニット広域市場開発チーム リーダー 箱崎 浩大氏



FCP 栃木ランチ

「とちぎのいいもの」を売り込むために！！

ランチの概要

【開催の目的】

販路開拓・拡大や新商品開発等に意欲ある事業者の取組を支援するため、フード・コミュニケーション・プロジェクトにより開発された「展示会・商談会シート」の作成、シートを活用した商談実践等を通じて、県内事業者の企業力や商品力の向上を図るとともに、「とちぎのいいもの」を首都圏に売込む。

【研修会の特徴】

- 専任講師によるグループワーク研修
- 研修会の初回と最終回に自社診断を行い、研修会への参加効果を検証します。
- 展示会・商談会への出展により研修会の成果を実践していただきます。
- 自社及び自社商品に対する「気づき」を自社の取組や商品に反映させ、商品力・企業力の向上を図ります。

【セミナーの開催】

- 周知のためのセミナー



研修会の内容

○第1回 平成23年6月7日

「自分の会社を見つめてみる」(シート作成)

講師:農林水産省FCPチーム 元木課長補佐
(株)アール・ピー・アイ 大島マネジャー

○第2回 平成23年6月28日(火)

「まずは、自分の商品を知る」(シート作成)

講師:イオンリテール株式会社 仲元剛氏
(株)アール・ピー・アイ 大島マネジャー

○第3回 平成23年7月14日(木)

「商談会で自分の商品をうまく伝える(応用編)」

講師:アグリフードEXPO事務局 芳賀明日香氏
(株)アール・ピー・アイ 大島マネジャー

○第4回 平成24年1月12日(木)

「商談会で自分の商品をうまく伝える2」

講師:FOODEXJAPAN開催事務局
日本能率協会 富浦渉氏
(株)アール・ピー・アイ 大島マネジャー

○第5回 平成24年3月13日(火)

「商品力アップのために～成果を共有しよう」

講師:(株)アール・ピー・アイ 大島マネジャー

ランチの実績

【研修会の参加者】

- セミナー 97名
- 第1回 31名
- 第2回 31名
- 第3回 22名
- 第4回 29名



【商談会への参加】(うち研修参加事業者数)

- アグリフードEXPO 27事業者(8)
- とちぎのいいものステーション 22 " (1)
- セブンネットショッピング商談会 54 " (9)
- とちぎ食と農の展示商談会 164 " (16)
- スーパーマーケットトレードショー 24 " (8)

(こだわり食品フェア含む)

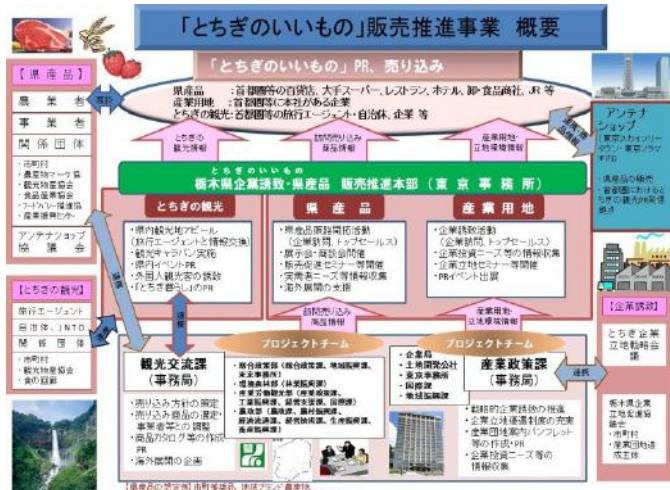
- とちぎのいいものまるごと商談会 33 " (12)

○FOODEXJAPAN(予定)

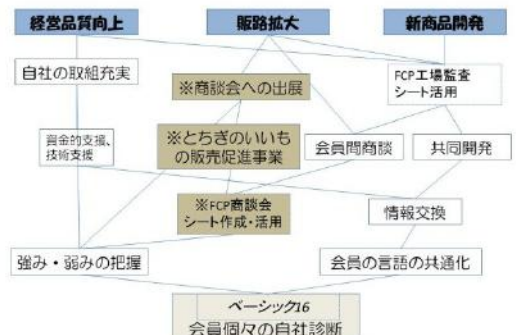
【とちぎのいいもの

販売促進事業】

- 事業登録者 44事業者
- 商品アイテム数 229商品
- 商品シート※数 149商品(※FCPシートを使用)



栃木ランチにおけるFCP活用(イメージ)



経営者を対象にトップセミナーを行うとともに、商談会を目指しながら、実践ツールとしてFCP展示会・商談会シートの研修を行いました。

「食品企業トップセミナー」の開催〈平成23年 参加13事業者〉

「お客様から信頼される企業をめざして」

①「わが社はなぜ？お客様に選ばれているのか？」

＊食の信頼向上に向けた「16の質問」

②「わが社のお客様価値創造のプロセス」

③「お客様との双方向コミュニケーション」

④「価値創造に向けたリーダーシップ」

⑤「お客様価値を高める人と組織づくり」

⑥「わが社の、お客様に信頼される企業づくり」

・各社の取組みと今後の計画発表

受講者の声

社是を基に経営理念を確立したつもりでした。しかし、セミナーで、「社員一人ひとりに浸透していますか？」と問われました。

ここでは、自社の現状を認識する事が出来、これから何をすべきかを気づかせてくれます。（食品加工 専務）

経営品質に触れ、経営を行う上で考えなくてはいけないことを体系的に学ぶことができ、何をどのようにすることが真の意味で顧客重視であるかを実例をまじえて聞くことができました。

（菓子製造 社長）

【講師】

安倍クオリティー

マネジメント(株)

代表取締役 安倍泰生 氏

〔三重県食の信頼向上アドバイザー〕

◆現在の活動状況

経営品質協議会認定セルフアセッサー、日本経営品質賞審査員 他



「FCP展示会・商談会シート作成研修」の開催

〈平成23年 研修参加 27事業者〉

〔1回目〕・「通信販売の現状と今後」・「FCPとは」

〔2回目〕・「FCP展示会・商談会シートについて」他

〔3回目〕・FCP商談シート記入相談（個別相談）

〔4回目〕・「みえの食」オンラインストア提案会

実践。商談参加97社 バイヤー5社

〔5回目〕・「ふりかえり」

商品等についてじっくりと考える機会を持つことがなく、あらためて見つめ直すきっかけになったなどの声が聞かれました。

食品企業向けセミナー

『震災復興は「コミュニケーション」から』の開催

〈平成24年2月開催〉

震災後、地元企業がまず考えたのは、

“消費者とのコミュニケーションをもう一度作り直すこと”でした。

そこで、消費者とのコミュニケーションや事業者間のつながりの大切さを改めて考える機会として、食品企業の復興支援に携わっている岩手県職員等をお招きし、復興に向けた岩手県食品企業の歩みをお聞きするセミナーを開催しました。

【講師】岩手県 照井儀明 氏 中村淳一 氏 青森中央学院大学経営法学部 教授 塩谷未知 氏

- 山梨県内の食品事業者の皆様が、全国的な商談会の場で、新たな商機をつかむ為、効果的な「展示会・商談会シート」の作成方法を習得する機会を作る。

併せて、衛生意識の向上を図るため、ベーシック16などFCPの成果物について理解を深めてもらうことも目的としている。

- 上期は、食品事業者向けの講演会等の場を活用させて頂き、FCPが食品事業者にとってメリットのある取組であることを説明。
- 下期は、実際の商談会において短時間でも効果的な自社商品PRを行うため、外部講師を招いた講座を実施し、更なる普及を図った。

※ランチの風景



テーマ：「食の安全・安心を伝える技術を磨く！」

平成22年度よりFCP和歌山ランチを開催。今年度も県内食品関連事業者が約20社が参加。

- ・安全・安心と企業の信頼向上について
- ・売れる商品づくりと安全安心の伝え方
- ・商品の魅力を的確に伝えるコミュニケーション力の強化

- ベーシック16を活用して自社診断(before)を行い、自社の「強み」「弱み」を確認。商談会で活用できる「**商談会シート**」を作成。ロールプレイによってコミュニケーション力強化をし、企業力アップ実践の場として、「**わかやま県産品商談会in大阪**」に出展。最終回に自社診断(after)を行い、研究会の効果検証を行っています。
- 毎回テーマにそった講義と全員参加のグループワークを中心に行っています。

第一回 5月25日	【講義】・FCPとは・お客様視点にたった企業経営とは？ 【グループワーク】・ベーシック16を使った自社診断(before)	
第二回 7月29日	【講義】・製造現場から見た食の安全安心について 【グループワーク】・「FCP展示会・商談会シート」裏面作成	
第三回 11月9日	【講義】・バイヤーにうったえる商談会シートの書き方 【グループワーク】・「FCP展示会・商談会シート」表面作成	
第四回 1月19日	【講義】・表現力アップセミナー 【グループワーク】・商談ロールプレイング	
第五回 2月9日	わかやま県産品商談会in大阪	
第六回 3月予定	【グループワーク】・商談会参加を振り返って ・ベーシック16を使った自社診断(after)・成果検証	

商談会を終えて参加者の感想

- 何度もアドバイスをもらい、納得いく商談会シートができ活用できた。
- 製造工程や品質管理について質問があったがスムーズに回答できた。
- ロールプレイで学んだポイントを絞った説明やニーズを聞くことができた。